

運用調整について議論を行う場合の想定される 検討事項等について

平成23年12月1日
共用検討ワーキンググループ
事務局

第4回WVGにおける議論の整理

①ホワイトスペースを利用するシステムの中でも特定ラジオマイクについては周波数移行であることから現行と同等の利用環境の確保が求められているところであり、他のシステムと異なる優先的な取り扱いが必要ではないか。

⇒どのような場面において、必要となるのかの整理が必要ではないか。

②ホワイトスペースを利用するシステムの技術的要件の確定や制度制定の時期が異なるが、あとから利用するシステムが不利にならないような制度設計をすべきではないか。各システムがホワイトスペースの利用を開始するまでの間に、ホワイトスペース利用システム間で共用するためのルールや体制づくりが必要ではないか。

⇒今回の共用方針を検討するに当たり想定するシステムは、エリア放送型システム、特定ラジオマイク、センサーネットワーク、災害向け通信システムとする。

各システムの技術の検討や実用化の時期について

⇒エリア放送型システムについては本年度中に制度整備を終え、平成24年度から順次ホワイトスペースの利用を開始するものと想定する。

⇒特定ラジオマイクについては、移行先周波数が確定し、ホワイトスペースが移行先となる場合には、来年以降の制度化後、順次移行を行うと想定する。

⇒その他のホワイトスペース利用システムについては、上記2システム以降にホワイトスペースでの利用を開始する。

③ホワイトスペースの利用には運用調整を行う機能や組織が必要ではないか。

⇒運用調整が必要であれば、運用調整の概念整理が必要ではないか。

運用調整について議論を行う場合の想定される検討事項

- (1) システム間の優先順位については、ホワイトスペースとして利用可能なチャンネルが競合する場合に適用されると考えてよいか。
- (2) どのようなケースにおいて、システム間の運用調整が必要となるのか。
- (3) 各システムは、他システムとの間で運用調整が可能か。
- (4) 「運用調整」とは何を指すか。運用調整を行うために必要な手続きや情報は何か。運用調整を行う組織は必要か。
- (5) 運用調整を簡素化する(または運用調整の頻度を減らす)ための方策はないか。
- (6) 運用調整を行う場合に解決すべき課題は何か。

パターン1 (ホワイトスペースで利用可能なチャンネルがある程度有るようなケース)

Ch	13	14	15	16	17	18	19	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
システムA	○	×	○	×	×	○	×	○	×	×	×	○	○	×	○	○	×	○	×	×
システムB	○	×	○	×	×	○	×	○	×	×	×	○	○	×	○	○	×	○	×	×
システムC	○	×	○	×	×	○	×	○	×	×	×	○	○	×	○	○	×	○	×	×
システムD	○	×	○	×	×	○	×	○	×	×	×	○	○	×	○	○	×	○	×	×
システムE	○	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	○	×

パターン2 (ホワイトスペースで利用可能なチャンネルが少ないケース)

Ch	13	14	15	16	17	18	19	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
システムA	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	×	×	×	×
システムB	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	×	×	×	○
システムC	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○	×	×	○
システムD	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	×	×	×	×
システムE	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×

※本件資料は、あくまでWGにおける共用方針の検討のために作成したものであり、実際に各システムが利用可能かどうかを表したものではない
また、あるシステムがホワイトスペースを使用した場合、他のシステムがホワイトスペースを使用可能か(図の○×の状況)は、改めて確認が必要となる。